

第150回 定時株主総会



Nissan Chemical
CORPORATION
日産化学株式会社

報 告 事 項



経済環境

国内景気

雇用・所得環境の改善を
背景に緩やかな回復基調

海外

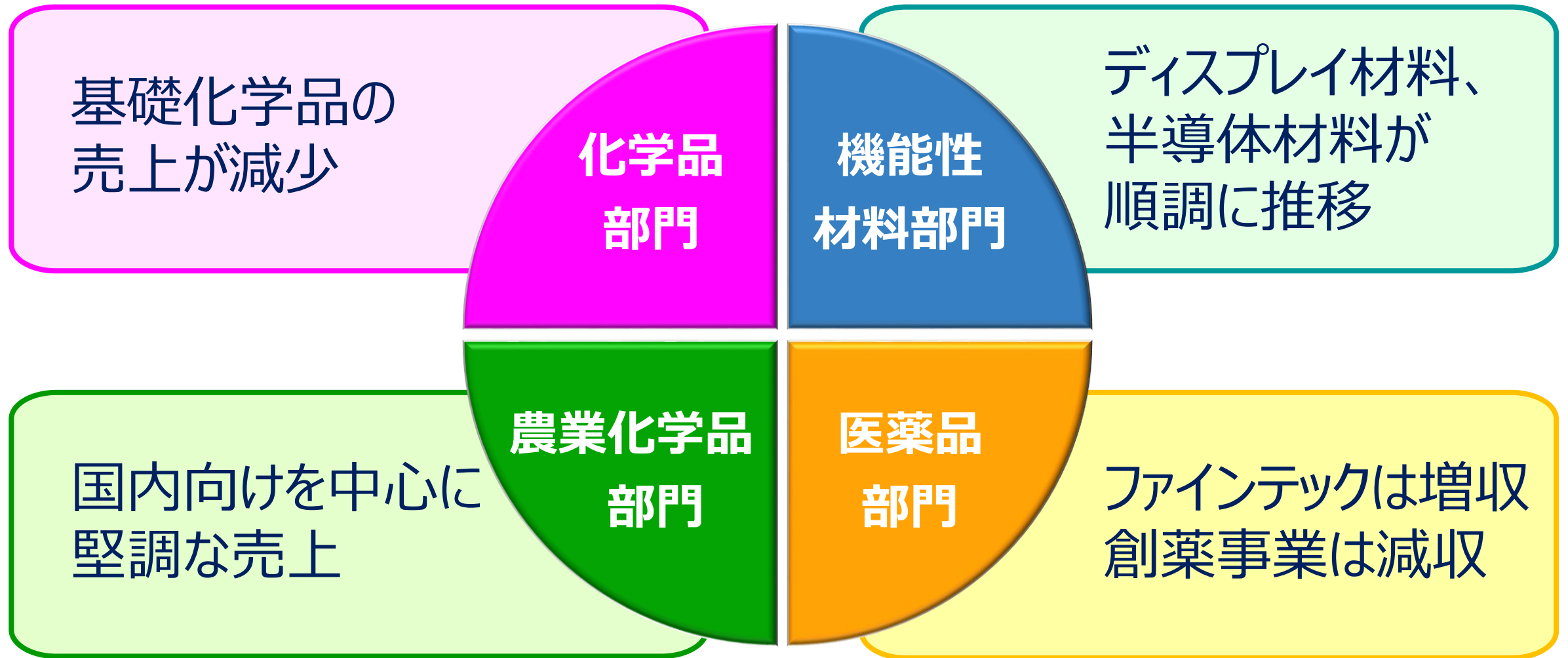
海外経済の減速に伴う
輸出の低迷

新型コロナウイルス感染拡大の影響
により世界的に経済活動が停滞



大幅に悪化

当社グループの事業



基礎化学品の
売上が減少

化学品
部門

機能性
材料部門

ディスプレイ材料、
半導体材料が
順調に推移

国内向けを中心に
堅調な売上

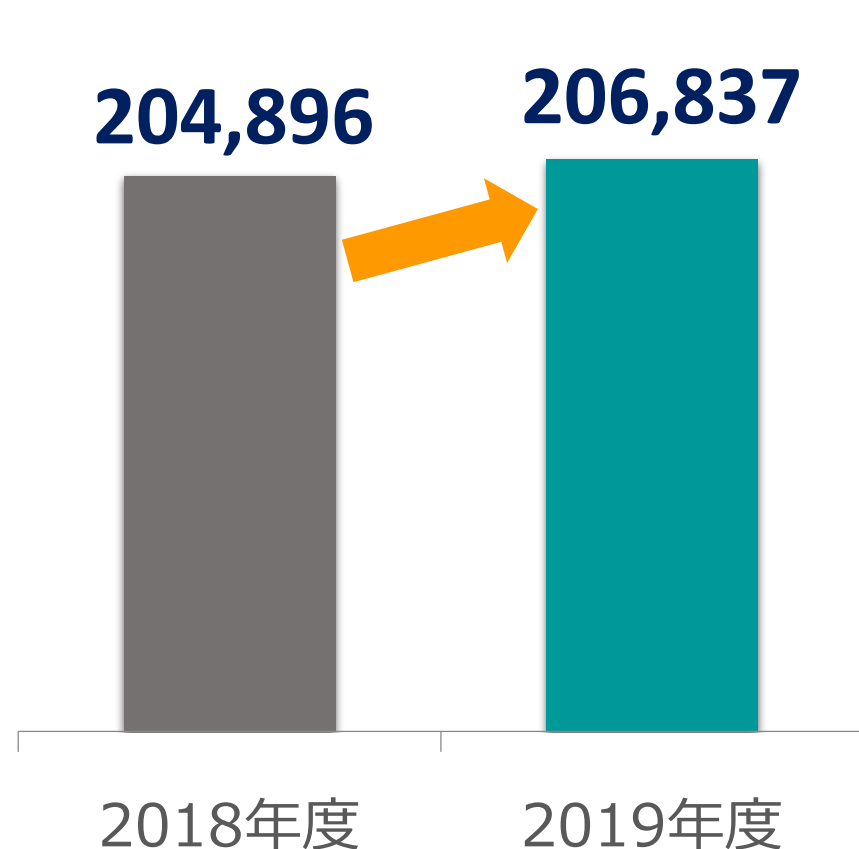
農業化学品
部門

医薬品
部門

ファインテックは増収
創薬事業は減収

売上高

2,068億37百万円



過去最高

前期比

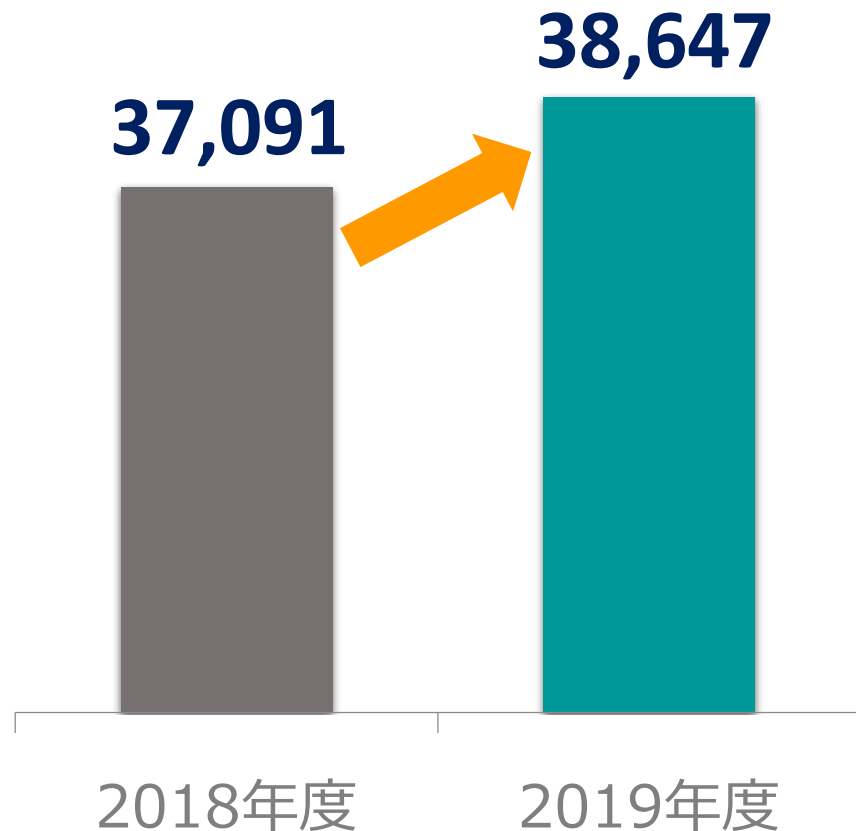
19億41百万円増

0.9%



営業利益

386億47百万円



過去最高

前期比

15億56百万円増

4.2%



経常利益

400億3百万円



過去最高

前期比

9億5百万円増

2.3%



当期における業績

単位：百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

307億79百万円



過去最高

前期比

14億7百万円増

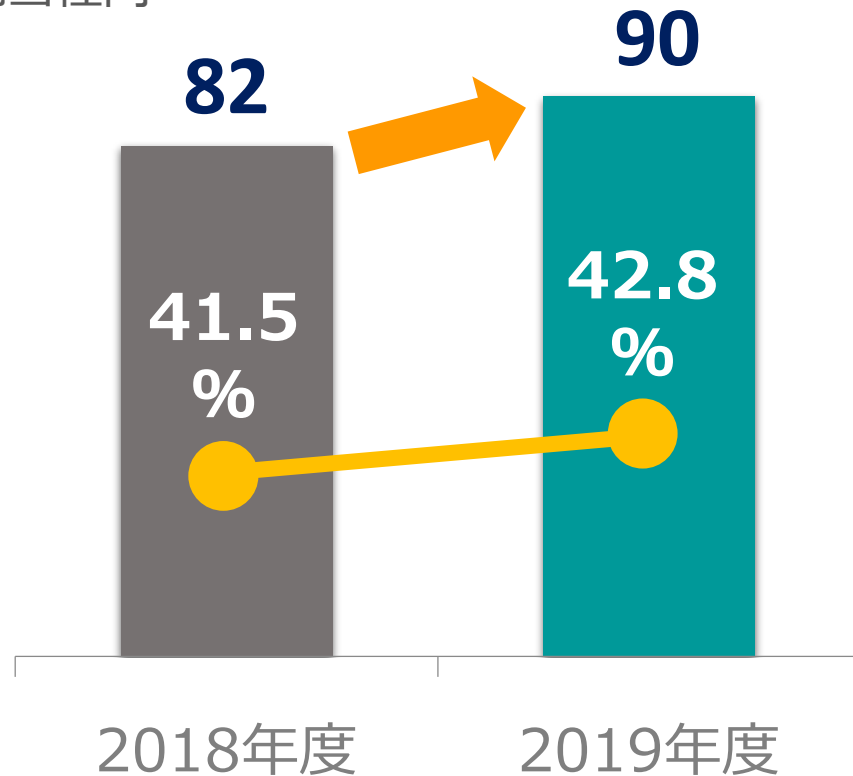
4.8%



年間配当金

1株につき 90円 (予定)

● 配当性向



前期比
8円増配 ↑

主要な経営指標

売上高営業利益率

18.7%

0.6ポイント



自己資本利益率(ROE)

16.9%

0.3ポイント



1株当たり当期純利益(EPS)

210.09円

12.42円



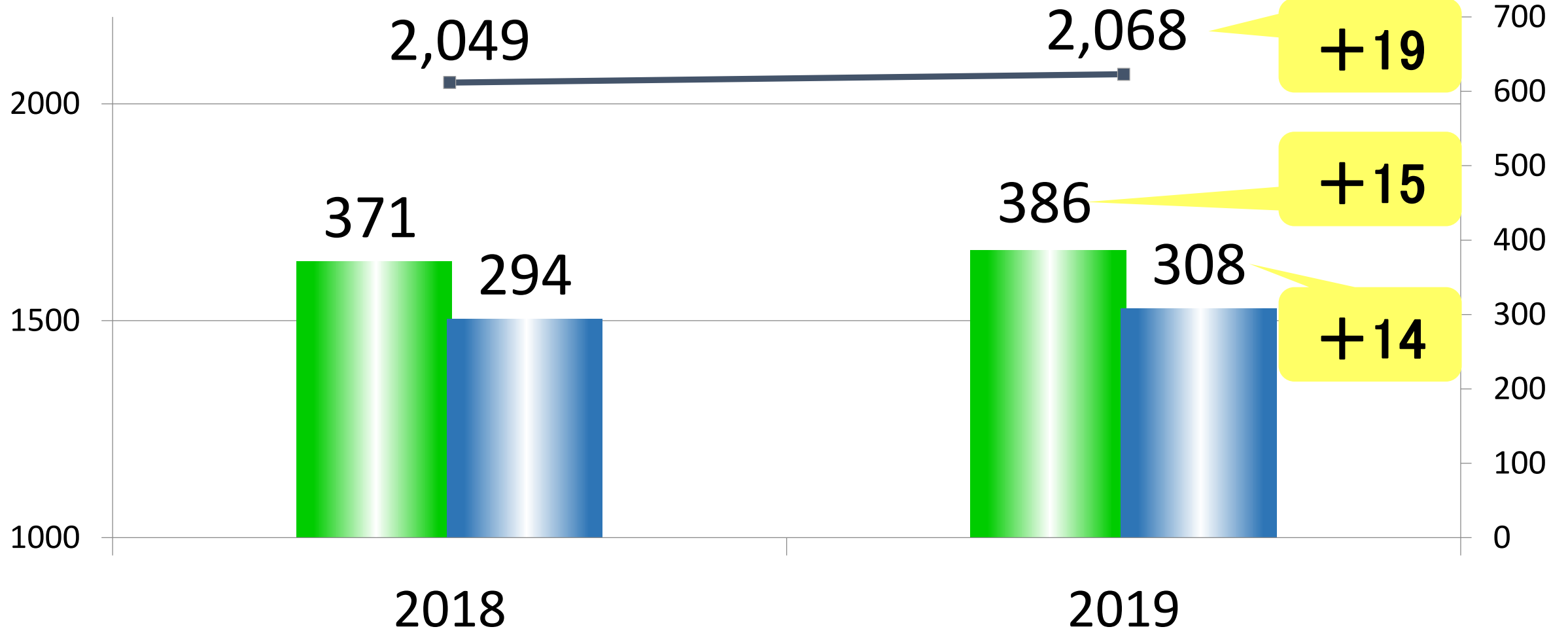
対処すべき課題

業績推移

過去最高

売上高 (億円)

利益 (億円)



■ 営業利益

■ 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 売上高

事業環境

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大

日本国内における緊急事態宣言



BCP（事業継続計画）による着実な事業存続

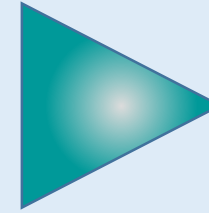
あらゆるリスク、世界的景気後退への備え

長期的課題

より強固な事業ポートフォリオの確立

既存事業

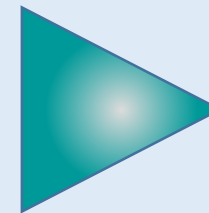
- ◆ 化学品アンモニア系事業の損益改善
- ◆ 医薬品事業の立て直し
- ◆ スマート農業への取組み



**更なる
事業基盤の強化**

新規事業領域への進出

- ◆ 権限と責任を明確化した「企画本部」の設立
 - ・ ライフサイエンス材料開発部
 - ・ 情報通信材料開発部
 - ・ 環境エネルギー材料開発部



**材料創出による
事業領域の確立**

長期的課題

CSR(企業の社会的責任)経営の積極的推進

マテリアリティ (重要課題)

「レスポンシブル・ケア活動の継続的強化」

◆ 気候変動緩和への対応

- ・ 温室効果ガス排出量削減

➡エネルギー原単位的大幅改善を達成

◆ 生物多様性への取組み

- ・ 生物多様性民間参画パートナーシップに参加

- ・ 今後、ビオトープ（生物生息空間）運営等の保全活動を拡大

長期的課題

コーポレートビジョン

人類の生存と発展に貢献する企業グループの実現

中期・短期的課題

利益、キャッシュフローの最大化

- ◆成長の源泉となる製品、新製品開発に経営資源を集中
- ◆市場を見据えた研究テーマの改廃、人員配置の見直し
- ◆経費削減、在庫の精査・適正化などの資産圧縮

リスクへの対応

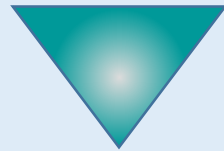
- ◆自然災害、新たなパンデミック、気候変動に伴うリスク等
- ◆事業存続にかかわる幅広いリスクを分析、対策

➡**万全な事業存続体制の構築**

中期・短期的課題

生産性の向上

- ◆デジタル技術を活用する
デジタルトランスフォーメーションを積極的に推進
- ➡更なる安定操業、研究開発の加速、ルーティンワークの省力化



高い創造性を発揮する企業集団への変革を目指す

- ◆テレワーク等、従業員が最大の力を発揮できる環境の提供

優れた技術と商品・サービスにより、
環境との調和を図りながら、社会に貢献する

経営の健全性・透明性向上

コンプライアンスの徹底

環境への一層の配慮

社会貢献活動の推進

すべてのステークホルダーから信頼される
企業グループの実現



Nissan Chemical
CORPORATION

日産化学株式会社